

第1回市史講座ミニレポート：平成28年4月8日（土）

「堀尾期松江城下町絵図の新たな知見について-GIS分析による家臣団と雑賀衆・伊賀衆-」

講師：大矢幸雄先生（『松江市史』絵図・地図部会長）



全18巻刊行予定の『松江市史』のうち、「史料編11 絵図・地図」を平成25年度に刊行しました。今回は「絵図・地図」の編纂にあたり部会長をされた大矢先生に、刊行後の研究成果について講演をしていただきました。

「絵図・地図」編刊行後も、編纂を担当された先生方は、大矢先生を中心に新史料の発見や、継続的な研究を続けてこられました。現在は全国の城下町を研究する城下町研究会のメンバーとして活動しておられます。全国的な城下町研究のなかでも、松江城下については史料の絵図・地図が豊富にあり、研究が進んでいるとのこと。

その先進的研究の一環であるGIS「Geographic Information System（地理情報システム）」を使ってあきらかになったことを紹介されました。

GISは絵図や地図を収録し、画面上に様々な情報を重ね、組み合わせて、それら空間情報の解析を更に多彩な機能を用いることで高度な分析が行えるシステムです。

今回紹介されたのは、「堀尾期松江城下絵図」（以下「堀尾図」）、「京極期城下図」、「延享年間松江城下図」、「嘉永年間松江城下図」などの絵図と文献史料を用いて分析された結果です。文献史料は家臣団の禄高や役職などを記した「給帳」、屋敷地の割当を記した「屋敷割帳」等が使われました。しかし、絵図と「給帳」を組み合わせ分析したところ、松平氏の治世下については史料の成立に5年程度のズレがあるため、1割程度しか一致しないということが判明しました。ところが「堀尾図」と堀尾氏時代の「給帳」は6割程度内容が一致し、史料の成立年代が近いことが明らかになったそうです。

そこで今回は「堀尾図」から新たに分かったことをお話しいただきました。

GISを用いた分析は地球上の位置情報や国土基本図と城下町絵図の情報を合体させる方法ですが、「堀尾図」は実測図との間に誤差を生じているそうです。また、「堀尾図」は実態図ではなく計画図ではなかったのか、雑賀町は完成した図として書かれているか等これまで疑問とされてきた点や、「堀尾古記」や「給帳」などの史料的評価についても触れられ、また松江城下町内部の詳細な情報は不明であることなど未解明な点も指摘されました。

そして堀尾家臣に見える足軽や雑賀衆、伊賀衆と呼ばれる人々の活動についても触れられました。この集団は「雲陽大数録」や江戸幕府の記録に見ることができます。伊賀衆の人々は「堀尾図」に「伊賀〇〇」と名前が記され、外中原周辺に屋敷と鉄砲場と呼ばれる演習地を持っていたそうです。

また、雑賀町の成立については「堀尾図」と他絵図との比較により、西側の雑賀町本町周辺は寛永10年（1633）までにできあがっていたと考えられ、この元雑賀周辺に雑賀衆が住んでいたのでは、と想定されました。この雑賀衆・伊賀衆は地侍を中心とする地縁的な組織（雑賀衆）と、農村に住み戦時に足軽的歩兵を務めた組織（伊賀衆）であり、共に鉄砲の技術に通じていました。

この他に近江国出身の国友衆という集団もあり、近江の史料や堀尾氏に関わる史料にも見えるとのことでした。

また、「給帳」のうち「山路本」（山路所左衛門の所持していた本）には知行取・切米取・扶持米取などの区別も記載されており、これにより伊賀衆・雑賀衆の平均石高と屋敷地の広さを産出すると、一般の足軽に比べて伊賀衆・雑賀衆は優遇されていた事が分かるそうです。

また、堀尾家家臣団のうち最も高い石高の堀尾修理（6500石）は、組下の家臣が城下中に屋敷を持ち、また伊賀衆は揖斐伊豆が、雑賀衆は堀尾但馬の一族が配下に置くなど、家臣団のグループがどのような場所に屋敷地を持っていたのかも分かってくるとのことでした。

屋敷地の分布については、殿町から京橋川までの区域に有力な家臣がおかれ、通路の境目などに大身の家臣の屋敷が置かれていたことが分かるそうです。また下屋敷が眺望の良い場所や防御の要となる場所に与えられていることを「堀尾図」によって説明されました。また、石高の高い家臣の他にも、小姓頭・医者など藩主の側近層にも分与されているそうです。

そして城下町松江は周囲を「ふけ田」、内水海、宍道湖などに囲まれた防御性の強い場所であること、家臣団は町ごとに格式に応じた配置がなされており、堀尾期までにその基礎は成立していること、重臣の屋敷地は大手門付近から南の堀までであり、さらに水運に便利な京橋川沿いに配置されていることなど、水辺の利用や自然的景観に配慮した城下町であることを指摘されました。

終わりに、「堀尾期松江城下町絵図」にはまだまだ多くの検討点があり、今後さらなる評価を加えることができる、とお話しになりました。